

新田・八幡こばと園だより 第40号

令和7年2月1日

季節の移り変わりは早いもので、あっという間に冬真ただ中となっています。子ども達も、この半年での様々な経験を通して、大きく成長しました。日々の保育、保護者参加の行事などなど、楽しいことがたくさんあった秋から冬のこばと園の様子の一部をご紹介します。

交通安全教室～ピーたがやってきた！～

事前に「交通安全教室」と知らされたていたけど、年長さんの子ども達の表情は???（なにがあるんだろう?）。

そして迎えた当日。キャラクターの“ピーた”から『車に乗るときにはチャイルドシートに乗って、シートベルトを忘れずに!』『自転車に乗るときはヘルメットをかぶること!』『車の中に取り残されたらハンドルのラップのマークを手やお尻で押して、知らせること!』などを、教えてもらいました。

そして、ピーたが違う動きをすると、「ちがう!ちがう!」「あぶないよ!」など、子ども達からの声かけ。しっかり勉強の成果があらわれていました。

右見て左見て右見て手をあげて…ピーたと一緒に学んだ、横断歩道の渡り方の経験は、その後のお散歩にしっかりと生きています。

新田こばと園 主幹保育教諭 門間久恵



たんぽぽ組の子ども達はお散歩が大好き。園庭に出るとベビーカーや散歩車に乗り込んで、「さあしゅっぱ〜つ」となります。

「今日はお散歩に行こう!!」と子どもたちに言葉を掛けると、いつも声にならない声で部屋が満たされます。「早く行きたいよ!」と言わんばかりでみんな笑顔で集合です。

ある日の散歩のときには、子ども達はお花を見つけ、保育教諭の手を引きながら近付き、そっと触って感触や香りを楽しみます。大人では見逃してしまう小さな変化をキャッチ。小さな石や、植物も見逃しません。ときには、園に戻るまでぎゅっと手に握りしめたまま帰ってくることもあります。

こんな子ども達の気持ちを大切にしながら、季節ごとに楽しいお散歩が出来るように安全に配慮しながら出かけています。

新田こばと園 たんぽぽ組（0歳児）担任 相馬早弓



こぼと大展覧会

11月5日（火）～15日（金）まで、展覧会を開催。昨年4月から各クラスで作った傑作と、3歳児・4歳児・5歳児の混合の縦割りグループの力作をご披露しました。

どの作品も個性豊かな秀作が勢ぞろい。見ている人が作品の中に引き込まれるような気持ちになったそうです。少し作品の制作過程をご紹介しますと…。



たんぽぽぐみ



ももぐみ



ほうぐみ



ひまわりぐみ



すみれぐみ



ゆいぐみ



いちごたんざくぐるーぷ

3・4・5歳児で一緒に作った作品のお題は「秋」。すぐにグループごと分かれて話し合いました。ひとつのグループのテーマの【木とりす・とんぼ】では、木の色を絵の具で塗り、紙コップを使ったりすを作りました。また、別のグループは【紅葉と木の実】で、拾ってきた葉っぱを貼ったり、木の実を折り紙で作ったりしました。

また、別のグループは【赤とんぼ】で、様々な廃材を使って作りました。



かささぎグループ

うさぎぼしグループ

どのグループも5歳児が3・4歳児の子に作り方を教えている姿が見られていました。

並べられた作品を飾ると、「かわいい〇〇だね。」「みてぼくのだよ。」「はさみできってのりではったよ。」など、保護者と一緒に鑑賞していました！！

八幡こぼと園 ひまわり組（3歳児）担任 島 仁美

人形劇団どんぐりこ定期公演—保護者会レクリエーション—

10月10日（木）保護者会主催の年に一度のレクリエーションの日、道具の搬入やホールの会場準備を見ている子どもたちは何が始まるのか不思議そうな顔で「先生何してるの?」と聞いてみたり、わざとゆっくり廊下を歩いてホールをのぞいたり、興味津々な様子。

さて、定期公演の幕が上がります。「アンパンマン」の曲で賑やかに始まり、「三匹のこぶた」「はらぺこあおむし」等、子どもたちがよく知っているお話や曲の人形劇。「はらぺこあおむし」で最後にちょうちよになる時、客席に向かって大きなちょうちよが飛んでくると、子どもたちの興奮はマックスに。職員からも思わず歓声が上がりました。最後は子どもたちが全員参加のパネルシアター。あっという間に時間が過ぎてしまいました。

保護者会のレクリエーション公演は今年で4回目。実はメンバーの方々から「子どもたちに毎年会いにきたい」とのありがたいお声をいただきました。今後も公演の継続をお願いしたいと思っています。

八幡こぼと園 主幹保育教諭 横山美世子



子どもたちが参加したパネルシアターです。